Creative Enzymes®

ヒト由来グルコキナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1697

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルコキナーゼ (GK; EC 2.7.1.2) は、グルコースをグルコース-6-リン酸にリン酸化するのを助ける酵素です。グルコキナーゼは、ヒトやほとんどの他の脊椎動物の肝臓、膵臓、腸、脳の細胞に存在します。これらの各臓器において、グルコキナーゼはグルコースセンサーとして機能し、食事後や断食時に見られるようなグルコースの上昇または下降に□じて代謝や細胞機能の□化を引き起こすことによって、炭水化物代謝の調節に重要な役割を果たします。この酵素の遺伝子の□異は、異常な形の糖尿病や低血糖を引き起こす可能性があります。
別名	EC 2.7.1.2; グルコキナーゼ; グルコキナーゼ (リン酸化); 9001-36-9; GCK; FGQTL3; GK; GLK; HHF3; HK4; HKIV; HXKP; LGLK; MODY2

製品情報

種	ヒト膵臓
由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 2.7.1.2
CAS登□番号	9001-36-9
分子量	52.8 kDa
純度	80%（密度測定）
活性	303 pmol/min/ug
濃度	1.0mg/mL
緩衝液	50 mM リン酸カリウム pH-7.4、50 mM 塩化ナトリウム、0.5 mM エチレンジアミン四酢酸、及び 2.5% グリセロール。
単位定義	1ユニットは、30°Cで1 nmolのNADPをNADPHに□換する酵素の量として定義されます。 アッセイ条件: 25 mM HEPES、pH 7.5、2 mM MgCl2、1.0 mM DTT、0.5 mM NADP、2.0 mM ATP、25 mM グルコース、100 µg/ml BSA、20ユニット/ml グルコース 6-リン酸脱水素酵素、30°Cで30分間の10 nM ヒト膵臓グルコキナーゼ。

保管・発送情報

保存方法	-80°Cで6ヶ月以上安定